

平成25年度 B3 一三

3 次は、中学三年生の小川さんが興味をもった【新聞記事】と、それに関連して探した情報を小川さんがまとめた【資料】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【新聞記事】

漢字、正確に書けますか？

文化庁 国語に関する世論調査

「書く力が衰えた」66・5%

年代	平成13年度調査	平成23年度調査(今回)
16～19歳	26.4	48.7
20代	44.1	74.9
30代	57.7	77.6
40代	51.8	79.5
50代	45.1	71.7
60歳以上	26.5	55.6

携帯電話や電子メールなどの普及によって「漢字を正確に書く力が衰えた」と感じる人が66・5%に上り、平成13年度調査時より25・2%増えたことが20日、文化庁の「平成23年度国語に関する世論調査」で分かった。

調査では、携帯電話や電子メールなどの普及による情報交換手段の多様化が、日常生活に影響を与えている例として思い当たることを複数選択で質問。その結果「漢字を正確に書く力が衰えた」と回答した人が大幅に増えた。年齢別に見ると、20代～50代で7割台となっており、平成13年度には2割台だった16～19歳と60歳以上でも、それぞれ、5割弱と5割台半ばとなっている。

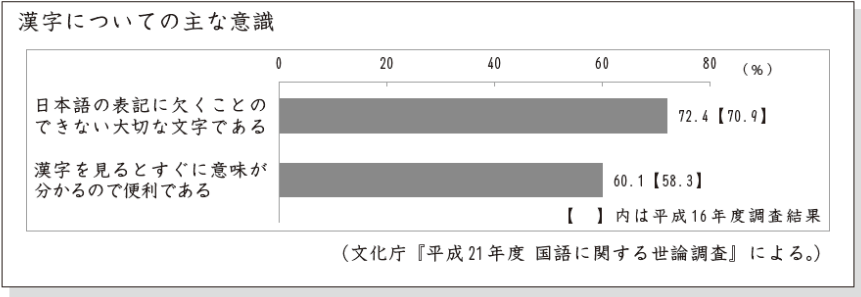
また、全ての年代で平成13年度調査の結果よりも今回の調査結果の割合の方が高くなっており、最も差の小さい30代で19・9%、最も差の大きい20代では、30・8%の差となっている。

このほか「手紙やはがきは余り利用しないようになった」が15・6%増の57・2%、「手で字を書くことが面倒くさく感じるようになった」が10・1%増の42・0%となった。

中学校の国語科教諭(47)は「似た形の文字の使い分けや同じ読み方をする語句の区別などについては、今後も注意して教え、情報機器と上手に付き合えるようにさせたい」と話した。

平成24年9月21日(金)「全国新聞」朝刊より

小川さんがまとめた【資料】



一 【新聞記事】の書き方の特徴を説明したのとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 最初に要点をまとめて述べた上で、具体的な数値を取り上げて詳しく書いている。
- 2 最初に書き手の意見を述べた上で、複数の見方を取り上げて多面的に書いている。
- 3 問題の解決方法を見出しで示した上で、グラフを用いて分かりやすく書いている。
- 4 最新の情報を見出しで示した上で、出来事の流れを時間の経過に沿って書いている。

解答らん

※ 問題は、次のページに続きます。

平成25年度 B3 一三

③ 次は、中学三年生の小川さんが興味をもった【新聞記事】と、それに関連して探した情報を小川さんがまとめた【資料】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

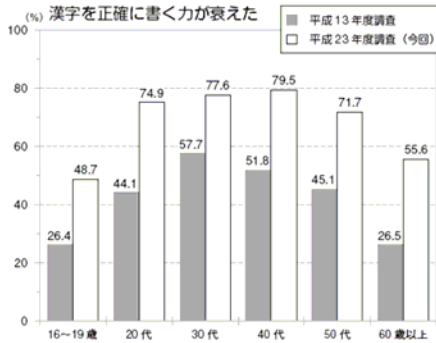
【新聞記事】

「書く力が衰えた」66・5%

携帯電話や電子メールなどの普及によって「漢字を正確に書く力が衰えた」と感じる人が66・5%に上り、平成13年度調査時より25・2%増えたことが20日、文化庁の「平成23年度国語に関する世論調査」で分かった。

漢字、正確に書けますか？

文化庁 国語に関する世論調査



調査では、携帯電話や電子メールなどの普及による情報交換手段の多様化が、日常生活に影響を与えている例として思い当たることを複数選択で質問。その結果「漢字を正確に書く力が衰えた」と回答した人が大幅に増えた。年齢別に見ると、20代は50代で7割台となっており、平成13年度には2割台だった16～19歳と60歳以上でも、それぞれ、5割弱と5割台半ばとなっている。

また、全ての年代で平成13年度調査の結果よりも今回の調査結果の割合の方が高くなっており、最も差の小さい30代で19・9%、最も差の大きい20代では、30・8%の差となっている。

このほか「手紙やはがきは余り利用しないようになった」が15・6%増の57・2%、「手で字を書くことが面倒くさく感じるようになった」が10・1%増の42・0%となった。

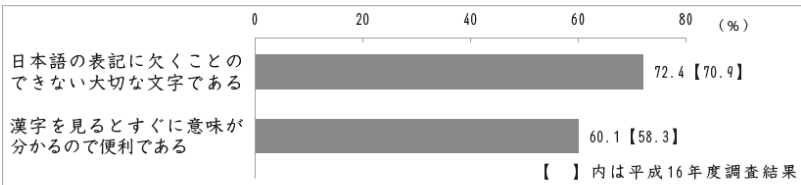
平成24年9月21日(金)「全国新聞」朝刊より

一 【新聞記事】の書き方の特徴を説明したのとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 始めに要点をまとめて述べた上で、具体的な数値を取り上げて詳しく書いている。
- 2 始めに書き手の意見を述べた上で、複数の見方を取り上げて多面的に書いている。
- 3 問題の解決方法を見出しで示した上で、グラフを用いて分かりやすく書いている。
- 4 最新の情報を見出しで示した上で、出来事の流れを時間の経過に沿って書いている。

小川さんがまとめた【資料】

漢字についての主な意識



【 】内は平成16年度調査結果 (文化庁『平成21年度 国語に関する世論調査』による。)

解答らん

1

※ 問題は、次のページに続きます。

解答らん

例	の	つ	の	部	二	と	い
「	漢	く	字	分	つ	間	ま
拾	字	り	で	の	の	違	す
」	で	の	一	が	漢	え	。
と	つ	一	部	あ	字	ず	
「	く	部	が	り	を	に	
捨	り	が	「	ま	並	使	
」	も	「	」	す	べ	い	
は	似	一	は	。	て	分	
、	て	「	、	だ	書	け	
同	い	か	同	か	い	ら	
じ	ま	「	じ	ら	て	れ	
て	す	土	て	、	覚	る	
へ	が	」	へ	そ	え	と	
ん	、	か	ん	の	る	思	

〈間違えやすい漢字の例〉

A
 B

← 選んだ〈間違えやすい漢字の例〉に○を付けなさい。

(正答の条件)

次の条件を満たして解答している。

- ① AとBのいずれか一つの〈間違えやすい漢字の例〉を選んで、その記号に○を付けている。
- ② 選んだ〈間違えやすい漢字の例〉について、二つの漢字の共通点や相違点など漢字の特徴を適切に取り上げて書いている。
- ③ 条件②に応じて、二つの漢字を学習する際の注意点やコツを具体的に書いている。
- ④ 七十字以上、百十字以内で書いている。

(正答例)

- ・ A
「拾」と「捨」は、同じてへんの漢字でつくりも似ていますが、つくりの一部が「一」か「土」かの違いがあります。だから、その部分の字形の違いに注意しながら、二つの漢字を並べて書いて覚えると間違えずに使い分けられると思います。(110字)
- ・ A
「拾」と「捨」は、「拾」は「しゅう」、「捨」は「しゃ」のように読みが違う。この二つの漢字を学習する際には、「拾得物」、「四捨五入」のように言葉を思い浮かべ、読みと意味を一緒に覚えるのがコツだ。(97字)
- ・ B
どちらも「あつい」と読むので、「厚い本を読む」(厚さ)、「熱いお茶を飲む」(温度)といったような例文を作って、意味の違いをはっきりさせて覚えましょう。(76字)
- ・ B
「厚」と「熱」は、訓読みは同じだが、意味の異なる漢字である。二つの漢字を間違えずに使うためには、それぞれの漢字を使った熟語を辞書で複数調べ、意味を確認しながら学習するとよい。(88字)